

令和3年度 事業報告・収支決算

1. 令和3年度 事業報告

事業1：研修事業

- (1) 観光関係者・協議会会員・一般向け酒蔵ツーリズム研修（3月東京）

「令和3年度 第1回酒蔵ツーリズムセミナー」

開催日時：令和4年2月24日（木）14：00～16：00

テーマ：「酒蔵ツーリズム」を通じて消費拡大、地域周遊・滞在を促す

事業2：調査事業

- (1) 国内「酒蔵ツーリズム」調査

関係団体へヒアリング調査を行った結果、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、本年度の調査を見送った。

- (2) 海外「日本産酒類 ドイツ市場」調査

期間：令和3年12月1日～令和4年2月1日

協力：ドイツ在住コーディネーター（富永真美子 氏）

対象：日本酒インポーター、日本酒レストラン・酒場、ドイツの旅行会社

調査項目：日本酒の認知度、日本を訪問した際に日本酒体験が好まれるか、等

事業3：プロモーション事業

- (1) 酒蔵関連情報の集約、サイト運営と更新

オフィシャルサイト及びFacebook・Twitterでの情報発信

- (2) 「体験！日本酒蔵ツーリズム」の連載

日本観光振興協会が年4回発行している季刊誌「観光とまちづくり」にて連載

- ・ 令和3年春号「酒蔵ツーリズムの現状と課題」

取材：日本酒蔵ツーリズム推進協議会

- ・ 令和3年夏号「九州豪雨水害を乗り越え有料体験メニューで球磨焼酎の魅力を発信」

取材：球磨焼酎蔵ツーリズム協議会

- ・ 令和3年秋号「酒蔵を巡って“周遊”と“滞在”を促す『ふくい酒蔵ある記』」

取材：福井・永平寺周遊滞在型観光推進委員会

- ・ 令和3年冬号「ワインのブランド化とやまなしワインツーリズム」

取材：公益社団法人やまなし観光推進機構

(3) 国内外催事 ブース出展

① 「ツーリズム EXPO ジャパン 2021 大阪・関西」

令和3年7月20日事務局より開催延期の連絡

日時：令和3年11月25日（木）～11月28日（日）

出展：日本酒蔵ツーリズム推進協議会

- ・ ブース内にパネル等を設置し、「酒蔵ツーリズム」に関する情報を発信
- ・ 会員酒蔵のブースを出展し、PRの場とする

② 「Bar convent Berlin」

日時：令和3年10月11日（月）～10月13日（水）

出展：日本酒蔵ツーリズム推進協議会、佐々木酒造、神戸酒心館、外池酒造店（日本酒の提供）

- ・ 日本酒蔵ツーリズム推進協議会会員のパンフレットをQRコードから読み込み配布、動画を投影、情報を発信

(4) ロンリープラネットへ「酒蔵ツーリズム」に関する記事の掲出

世界最大のガイドブック会社であるロンリープラネットと連携し、記事の掲出ならびに日本酒蔵ツーリズム推進協議会英語サイトへのアクセス向上を図る。また各地域の酒の特徴と酒造りの映像を制作し、ドイツをはじめとする世界各国へ発信する。

事業4：協議会自主事業

- (1) 会員相互の交流、情報交流機会の提供
- (2) 食との連携強化事業（郷土料理や世界各国料理とのペアリング、フードツーリズムやガストロノミーツーリズムとの連携）
- (3) 地域DMOとの連携による着地商品化、海外へのプロモーション支援
- (4) 酒蔵ツーリズムに関する提言活動

2. 令和3年度 収支決算

1. 収入の部

区分		金額	備考
1	事業分担金	540,000	酒蔵ツーリズム事業分担金 540,000円(15,000円×36団体)
2	助成金	10,000,000	日本財団支援基金、国税庁受託事業
3	日観振負担金	765,290	
合計		11,305,290	

2. 支出の部

区分		金額	備考
1	酒蔵ツーリズム調査事業	3,000,000	海外市場調査 3,000,000円
2	研修事業	700,000	研修・セミナーの開催
3	プロモーション事業	7,429,000	① サイト・SNS運営 264,000円 ② ロゴマーク制作 165,000円 ③ ロンリープラネット関係事業 7,000,000円
4	事務局運営	176,290	① 印刷製本費 68,750円 ② 通信運搬費 250,000円
合計		11,305,290	

3. 収支差額	0	1. 収入合計 - 2. 支出合計
---------	---	-------------------

(単位：税込・円)